



DISTRICT 2650

創	立	昭和 32 年 4 月 19 日
会	長	辻 田 真 海
会長エレクト	松 井 大 典	
副 会 長	河 村 善 一	
幹 事	中 谷 昌 紀	
公共イメージ	鶴 山	学



Vol. 67 No. 35 (2023-24)
2024 (令和 6) 年 6 月 28 日発行

2023-24 年度 第 2650 地区スローガン

個性、基本、求心力

【事務局】 橿原市久米町 926 奈良県業会館内
TEL : 0744-25-3986 / FAX : 0744-25-3985
E-mail : krc@jeans.ocn.ne.jp

【例会日】 金曜日 12 時 30 分～13 時 30 分
橿原市久米町 934 橿原神宮 養正殿
TEL : 0744-26-2789 (代表)

6月は、「ロータリー親睦活動月間」(Rotary Fellowships Month)です。

第 3187 回例会報告書

2024 (令和 6) 年 6 月 21 日

司会 SAA・長谷川博章会員
R.song 手に手つないで
ソング・リーダー 西川貴康会員

ゲ ス ト

卓話講師：帝塚山大学 法学部 教授 末吉洋文氏
入会予定者 (例会見学)：西峯 恵氏

出 席 報 告

会員 50 名

(6/21) 出席者 32 名、MU6 名、出席率 82.61%

(5/24 補正) " 34 名、" 5 名、" 83%

ニ コ ニ コ 箱

◎本日の卓話担当です。よろしくお願い致します。

……………松井大典会員

◎チョットうれしいことがあったので。

……………山川 賢会員

◎誕生日お祝い 田中麻呂会員 (6/5)

◎結婚記念日お祝い 密門裕範会員 (6/25)

会 長 挨 拶

○ロータリークラブは 200 以上の国に存在し、世界に約 140 万人の会員がいます。それは先進国だけに留まらず、政治的に不安定な国々、貧困・格差が拡大する国にもロータリークラブは存在しています。

今回の卓話は平和に関することということで、国際ロータリーの 6 月報告書で、それに関連した事項を紹介致します。レバノン共和国のロータリークラブのお話です。レバノン共和国はご存知の通り、イスラム教徒とヨーロッパ寄りのキリスト教徒との主導権争いが絶えず、1975 年から 1990 年まで内戦が続く、内戦が終結した現在も不安定な状況が続いて

ています。その間に国の経済は疲弊し、若い世代の国外退去が増えています。

ベイルート・パックス・ポテンティア・ロータリークラブの現会長である、アンハル・コザヤさんは 22 歳と若く、レバノンを去る人が一番多い世代です。このクラブはロータリー財団グローバル補助金によるプロジェクトから生まれ、会員 17 人の平均年齢が 23 歳であり、平和の構築に焦点を当てています。彼女は「今レバノンが抱えている問題は、戦争ではなく、経済危機によって国内にはびこる貧困や社会不安、公共サービスの崩壊です」と言います。

かつてレバノンは中東のスイスと言われた銀行業の中心地でした。しかしながら、ここ 50 年ほどは人口の国外流出が続き、2019 年以來の金融危機で流出に拍車がかかり、3 桁のインフレ率をもたらし、銀行を破綻させ、数百万人を貧困に追いやりました。コザヤさんは「私がレバノンに留まった理由は、ロータリーです。ロータリーがあったから、意欲と勇気を持ち続け、祖国のためにもっと貢献したいと思いつけることができた。」と言います。レバノン国内のほかのロータリークラブも奉仕活動を行う中、この新しいクラブは、平和構築のフレームワークを通じて活動をさらに前進させています。若い会員たちは、平和が根づくための土台となる制度、態度、条件を培うアプローチである「積極的平和」の原則を強く信じていると言います。コザヤさんは、この活動で確信したことは、「平和に取り組まずに環境について語ることはできませんし、平和の構築を視野に入れずに女性の権利や寛容、人権、地域社会の経済発展について語ることはできません。」

日本に於いては、戦争はどこか他所事という思いがありますが、決して対岸の火事ではないということ肝に銘じ、同じロータリアンの私たちに、いったい何ができるのかを考えるべきだと強く思った記事でした。



四つのテスト ①真実かどうか ②みんなに公平か ③好意と友情を深めるか ④みんなのためになるかどうか

幹事報告

△次週 6 月 28 日（金）は今年度最終例会で、夜間例会です。時間は 18 時開会、場所は養正殿ですので、お間違えの無いようよろしくお願い致します。

△先週、卓話講師としてお越し頂いた東大寺 執事長の上司永照様より頂いたお土産と、辻田会長よりシンガポール国際大会のお土産を各テーブルにお配りしておりますのでお召し上がり下さい。

委員会報告

○ORA・IA 委員会：

山田善紀委員長

・檀原 RAC

今年度最終例会について

日時：6 月 29 日（土）

13:00 開会、15:00 閉会

場所：檀原オークホテル

登録料：5,000 円



先週もご案内させて頂きましたが、本日の例会終了後まで登録を受け付けていますので、ご参加頂ける方は事務局までご連絡をお願い致します。

○次年度 SAA：永田晶三会員

・次年度 SAA からのお願いとお知らせについて

いよいよ次年度が近づいて参りました。本日皆様に「SAA からのお願いとお知らせ」の文書をポスティングさせて頂いていますので、ご確認頂き、何卒ご協力をお願い致します。

特に、欠席される場合は例会の前々日（水曜日）の正午までに欠席届をご提出頂きますようよろしくお願い致します。次回例会の出欠表も、次年度も継続して掲示板に貼りますので、そちらへのご協力もよろしくお願い致します。

また、車でお越しの方は、車回しのところには停めずに、必ず駐車スペースに停めて頂きますようお願い致します。また、養正殿の前の道は「一方通行をお願いしている」ということだそうですので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。



○和飲会：尾上隆志会員

いよいよ次週は今年度最終例会です。辻田会長、中谷幹事の慰労をさせて頂きたいという思いから、最終例会の後に「いしばし」にて和飲会を開催させて頂きます。ノンアルコールもご用意させて頂きますので、お酒を飲める方も飲めない方もお気軽にご参加頂ければと思います。よろしくお願い致します。



卓話

担当：松井大典会員

講師：帝塚山大学 法学部 教授 末吉洋文氏



「エンパシーで磨く自分のアンテナ —ジェンダー問題から 平和教育を題材に—」

今回の卓話のキーワードはエンパシーです。エンパシーとは、「相手の立場になりきって相手の考えや思いを想像して理解すること。頭だけで相手の感情や言葉を受け止めたり、理解するだけではなく、想像力を働かせて「もし自分が相手の立場であったらどのように感じるのか、どのように考えるのかまで想像すること」と定義されています。エンパシーが「共感」と訳される場合が多いのに対して、エンパシーと似た言葉としてのシンパシーは「同情」と訳されています。「共感」と「同情」がそれぞれどう違うのか、ややわかりにくいかもしれません。

シンパシーが一時的な感情や心の動きを意味するのに対して、エンパシーは能力を意味します。つまり、前者は人間としての感情として心が動かされることを意味し、それに対して後者は自ら「その人の立場であればどう考えるか、あるいはどう行動するかと考えることにより、その人の味方にどうすればなれるのかを考える能力です。

エンパシーが日本で徐々に広まりを見せているのは、英国在住の作家・ブレイディみかこさんが 2019 年に出版した『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』（新潮社）において紹介したエピソードがきっかけです。当時中学生だったブレイディみかこさんの息子が、学校のテストで出た「エンパシーとは何か？」という問いに対して、「自分で誰かの靴を履いてみる」と答えました。これが名答だったのです。誰かの靴を履いてしまったことは、私にも経験があります。宴席でお酒に酔ってしまったり、あるいは似たような靴を履いている他人と一緒にしまった場合に間違いは起きてしまいます。しかし、ここで「他人の靴を履く」とは、ある意味、自ら故意に「履く」ことを意味します。「他人の靴を履いてみる」ことで、きっと初めてわかることがあるでしょう。他人の足の大きさや形・・・自分とは異なる他人の状況。このように、

エンパシーは「意見の異なる相手を理解する知的能力」として「他者の靴を履く」力と表現され、多くの共感を呼びました。

今や、スマートフォンがあればインターネットを通じて何でも調べることが可能です。知識は容易に手に入る。しかし、より理解を深め、問題を発見し、解決するためには知識の獲得だけでは不十分です。エンパシーを獲得したうえで、「他人の靴を履く」のと同様の行為が教育にも求められているのです。「対岸の火事」と見なして何もしないのか。それとも、想像力を働かせたうえで自分に関係のあることと考え、問題解決のために発言・行動できるかどうか。これが大切なのです。

したがって、8月の戦争遺跡バスツアーにおいても、ただ単に子どもたちをバスに乗せて、現地に連れて行くだけでは折角の機会における教育効果も半減すると考えるべきでしょう。あらかじめ準備して、子どもたちがシンパシーを超えたエンパシーを獲得し、鍛えていくためには何が必要であるのかについて考えなければなりません。これは大人の仕事であると言えるでしょう。どのような言葉で問いかけをすべきか。大人による発問の質が子どもたちの知的好奇心を刺激し、エンパシーの獲得につながることでしょう。子どもたちに単に「学んだ」という経験だけをプレゼントするのではなく、ドキドキワクワク探究したくなる。そして発信したくなる。努力が認められ、褒められて喜ぶ。そうなれば教育効果100点満点の戦争遺跡バスツアーになると思います。

【例会ご案内】

7月5日(金)《第1例会》

会長・幹事就任挨拶

7月12日(金)《第2例会》

フォーラム

(奉仕プロジェクト常任、クラブ管理運営常任、
会員増強・ロータリー財団・公共イメージ常任)、
地区出向者挨拶

7月19日(金)《第3例会》

担当：中井美和会員

7月26日(金)

休会

【同好会】

書道同好会

7月5日(金)・12日(金)

午後2時～於：奈良県葉業会館

【RAC 例会】

[橿原オークホテルにて、午後7時30分～9時]

6月29日(土)《第2例会》

「最終例会」

12:30 受付開始、13:00 開会、15:00 閉会

於：橿原オークホテル

7月8日(月)《第1例会》

「所信表明例会」

※卓話資料はデータでの提出をお願い致します。

MEMO